

# プロダクティブ・エイジング トピックス 2019

—海外情報—

7月



ILC グローバル・アライアンス関係のイベント

## ●英国:「異なる年齢:高齢期の多様性に関する ILC-UK 報告」A different age: A snapshot of diverse later lives」

<https://ilcuk.org.uk/a-different-age-a-snapshot-of-diverse-later-lives/>

- <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2019/07/ILC-A-diferent-age.pdf>  
(リーフレット)
- 公共政策では多くの場合、「高齢者」を十把一絡げでとらえがちだが、高齢者は複数の世代からなり、また様々な特性が見られる。そこで ILC UK では、高齢者の多様性や格差について取り上げた。このリーフレットでは ELSA のデータを用いて、10 項目(例:性、人種、労働参加、孤立など)について高齢者の多様性や格差を紹介している。

## ●英国:「高齢化に関するグレーターマンチェスター(GM)の現状と取り組みに関する中間報告」(ILC-UK が作成)

先月の報告に記載した通り、GM では高齢化の経済的チャンスを活かす新たな地域産業計画を立てた。今回紹介するのは、ILC UK とグレーター・マンチェスター合同行政機構(GMCA) Aging Hubによる研究の中間報告であり、そこではこれらのチャンスの特性や対応方法を検討し提言を行っている。50 歳以上の人たちの市場は他の年齢層よりも成長が早いことを踏まえ、この報告では通常の「高齢者」を超えて、50 歳以上の人たち全体をカバーする。

- <https://ilcuk.org.uk/advantage-gm-unlocking-the-longevity-economy-for-greater-manchester-interim-findings/>
- <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2019/07/Advantage-GM-Interim-Findings.pdf>



## 海外のイベント

### ●国連:エイジズムへの対応や高齢者のエンパワーメントに関する 2019 年ハイレベル政治フォーラム(HLPF)サイドイベント

2019 年 HLPF のサイドイベントでは、エイジズムへの対応や高齢者のエンパワーメントについて議論が行われた。このイベントは、国連経済社会理事会(ECOSOC)による後援の下、高齢化に関するステークホルダーグループが企画し、国連経済社会局がスポンサーとなった。高齢者は様々なエイジズムに直面しており、SDGs のメカニズムから外されることも多く、また差別的な法律や政策ならびに雇用、教育、医療などでの差別も多い。このイベントには幅広い専門家が集まり、エイジズムや差別がいかにして格差拡大につながるか、また高齢者の排除へ対応するために法律や政策の枠組みがいかにして必要か、検討した。

➤ <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2019/07/hlpf-ageism/>

### ●国連:2019 年国際高齢者デー「あらゆる年齢層への平等に向けた旅路(The Journey to Age Equality)」

2030 アジェンダと SDGs では、開発は、あらゆる年齢層を包摂して初めて実現できると認識している。2019 年のテーマは、SDG 10(不平等の是正)と足並みをそろえ、現在や将来的な高齢者の不平等へ対応する道筋に重点を置く。サブテーマでは、(1)ディーセントワークの貢献者としてのケア部門、(2)生涯学習および先を見越し順応性のある労働政策、(3)ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、(4)社会的保護策に重点を置く。

➤ <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2019/06/idop/>

➤ <https://www.un.org/development/desa/ageing/international-day-of-older-persons-homepage/2019unidop.html>

### ●ILO 宣言:職場でのエイジズム対応が、持続可能な仕事の未来へのカギ

第 108 回国際労働総会で採択された、仕事の未来に関する ILO100 周年記念宣言では、技術イノベーションや気候変動など他の要因と並んで、人口構造の変化が仕事の未来を形成していくことを認めている。

職場での人口構造変化へ適応させるために、宣言では ILO に対し、「良質で生産的かつ健康的な状況で退職まで働ける機会を最大化して選択の幅を広げ、またアクティブ・エイジングを可能とするよう、高齢者を支援する対策」の展開を呼びかけた。労働市場では高齢者の可能性が十分生かされていないため、この呼びかけは必

要である。多くの高齢者は、新たな仕事や研修の機会を探したりキャリアの展開でバリアに直面しているほか、不景気の際には早期退職させられる人も多い。

- <http://www.unece.org/info/media/news/population/2019/combating-ageism-in-the-workplace-is-key-for-the-sustainable-future-of-work/doc.html>
- [https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed\\_norm/---relconf/documents/meetingdocument/wcms\\_711288.pdf](https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_norm/---relconf/documents/meetingdocument/wcms_711288.pdf)（宣言本文）

### ●G20:国連サイトで G20 を特集記事:歴史的な G20 首脳宣言で「健康で活力ある高齢化社会を促進」するよう認識

下記国連特集ページ記事の要約:世界の高齢者のうち 70%以上が G20 加盟国に暮らしており、加盟国の高齢者数は、2019 年には 5 億人だが 2030 年には 7 億人に増加すると見込まれる。また、80 歳以上の数が 2019 年から 2050 年の間に 3 倍(1 億人から 3 億人)になると見込まれる。

人口高齢化への対応で、あらゆるレベルにおいて政策立案者を支援するために、国連ではいくつかの資料を発表した(これらは下記紹介文からダウンロード可能)。たとえば Profiles of Ageing 2019 では世界・地域・小地域で主だった高齢化の指標を示した。また「10 の主な知見(Ten Key Findings)」では、G20 加盟国での高齢化の動向をまとめている。

- <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2019/07/g20/>（国連特集ページ）
- [https://g20.org/jp/documents/main\\_point.html](https://g20.org/jp/documents/main_point.html)（大阪首脳宣言。該当部分は 5 の(1)）



海外のニュース

### ●EU:2100 年までの EU 人口予測

Eurostat によるベースラインの人口推計では、EU の人口は 2018 年から 2100 年の間に 2,000 万人(約 4%)減少する。EU の人口は 2044 年まで着実に増加し、5.25 億人でピークに達したのち、減少を始める見込み。

また全体として、人口の高齢化も進行し続けると予測される。2018 年から 2100 年までの間に、年少人口の割合は 16%から 14%へ、生産年齢人口は 65%から 55%へ、65 歳以上の割合は 20%から 31%となる予測。また、80 歳以上の割合は、6%から 15%となる見込み。

その結果、年齢中位数は 43.1 歳から 48.7 歳となる予測。また老年人口指数も 31% から 57% へと増加の見込み。

- <https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/-/DDN-20190710-1?inheritRedirect=true&redirect=%2Feurostat%2Fnews%2Fwhats-new>
- <https://ec.europa.eu/eurostat/web/population-demography-migration-projections/population-projections-data>

### ●英国:孤独への対応として「おしゃべりベンチ(Chat bench)」を町が設置

英国の2つの町(トントンとバーナム=オン=シー)では、国連の世界高齢者虐待防止啓発デーに合わせて、日常生活で孤独を感じる高齢者向けに、町の公共スペース(公園など)に「おしゃべりベンチ(Chat bench)」を設置した。

ベンチには、以下のようなメッセージ(実際のメッセージ下記サイト参照)が掲げられている。「“喜んでおしゃべり”ベンチ:誰かが来て“こんにちは”と話しかけてもよい人は、ここに座ってください。」このベンチによって、人々とつながったり、地域で孤独な人たちを助けたりするチャンスがもたらされる。

このプロジェクトは高齢者を念頭に置いて始められたが、あらゆる年齢層に活用してほしい、と担当者は述べている。

- <http://mentalfloss.com/article/586572/chat-benches-combat-loneliness-in-uk>

### ●英国:Independent Age と Cosy Club が孤独に直面する人たちを招き紅茶をふるまう

英国でレストランやバーを 25 店舗展開する“Cosy Club”では、高齢者支援団体の Independent Age と提携して孤独への対応に取り組んでいる。

「困っている人たちへ無料の紅茶を(Free Teas For Those In Need)」と呼ばれるプログラムは、全店舗で水曜日の午前 10-11 時に開催され、そこでは孤独や孤立に直面する人たちを支援し、他の人たちや地域とつながれる機会を提供することを目指している。

- <https://www.charityupdate.co.uk/news/community/independent-age-and-cosy-club-partner-to-end-loneliness/>
- <https://cosyclub.co.uk/free-teas-for-those-in-need/>

### ●英国:認知症患者のモニタリングに Alexa と近隣者を活用—自治体議員は懸念

南グロスターシャーの議員たちは、成人向けソーシャルケアに関する月次予算会議で出された、Alexa の活用や近隣者の「立ち寄り(popping in)」による対応の可能性について、懸念を示している。

自治体では、より良いケアを提供するために支援テクノロジーを活用し、従来の支援（訪問介護）と併せて（転換するのではなく）運用していくことを検討している。調査委員会では、ソーシャルサービスが今後どのように発展し、テクノロジーがどのような役割を果たすかについて、いくつかの例が挙げられた。

そのうち、初期の認知症患者のモニタリングとして近隣者の「立ち寄り」や、当事者が使い方を知らない Alexa で対応しようという考えには懸念が示された。

今後さらなる調査を行うことで、バーチャルな支援が役割を担える可能性も考えられる。これらの機器はまた、孤独感の解消や質問への回答、予約や服薬などのリマインダーなどでも役立てることができる。

- <https://www.bristolpost.co.uk/news/bristol-news/amazon-alexa-neighbour-popping-in-3061431>

### ●英国:NHS の健康情報が Amazon の Alexa を通じて入手可能に

NHS は Amazon と連携して、この音声による支援テクノロジーを通じて NHS ウェブサイトの信頼できる健康情報を提供できるよう取り組んでいる。

このテクノロジーは特に、高齢者や視覚障害者、その他従来の方法でインターネットにアクセスしにくい人たちが、NHS 認証済の専門的な健康情報をシンプルな音声コマンドを通じて得るのに役立つ。

Amazon のアルゴリズムでは、NHS ウェブサイトからの情報を活用して、たとえば「Alexa、どうやって頭痛を治したらいいですか?」「Alexa、インフルエンザの症状はどのようなものですか?」「Alexa、水ぼうそうの症状はどのようなものですか?」といった音声での質問に答える。テクノロジーを通じて一般的な病気の情報を提供することで、NHS や GP へのプレッシャーを減らせる可能性がある。

音声での検索は急速に伸びており、2020 年までにはあらゆる検索の半分以上が、音声支援テクノロジーを通じたものになると見込まれる。

- <https://www.gov.uk/government/news/nhs-health-information-available-through-amazon-s-alexa>

### ●英国:高齢化社会のチャンス活用に向けた専門家評議会の設立

様々な専門家が集まった新たな評議会「英国長寿評議会 (UK Longevity Council)」が設立された。今後 50 年以内に高齢者人口がほぼ倍増することを踏まえ、政府の「高齢化社会の重要課題 (Ageing Society [Grand Challenge](#))」(政府の産業戦略の主要部分)では、高齢化社会での変わりゆくニーズへ応えるためにイノベーションの力を活用することを目指しているほか、健康寿命の伸長や貧富の格差縮小も目指しており、長寿評議会はこの点で重要な役割を担う。この評議会にはビジネスリーダーや医療専門家などが集まり、健康的な生活に向けた支援方法や、高齢化社

会に対応した製品やサービスの成長市場で英国が主導的な立場を確立できる方法について、政府へ助言を行う。

- <https://www.gov.uk/government/news/experts-to-help-uk-champion-ageing-society-opportunities>

### ●英国:詐欺から身を守る:試験事業の報告とガイドブック発表

Age UK は 2018 年 2 月から 2019 年 1 月まで、詐欺防止と被害者支援(Scams Prevention and Victim Support)の試験事業を行った。

このプログラムでは、詐欺について高齢者の知識を高めるとともに、被害者の削減に取り組んだ。

具体的には、(1)地域のグループやイベントでの認知向上講演、(2)1対1のセッション(主に高齢者の自宅で)、(3)高齢の被害者に対する1対1の支援(複数回の自宅訪問)を行った。

下記の報告書は、その目標と達成状況についてまとめている。Age UK ではまた、詐欺防止に向けたガイドブックも発行しており、下記からダウンロード可能。

- <https://www.ageuk.org.uk/discover/2019/june/staying-safe-from-scams/>
- <https://www.ageuk.org.uk/globalassets/age-uk/documents/reports-and-publications/scams-report-a5-booklet.pdf> (プログラム報告書)
- [https://www.ageuk.org.uk/globalassets/age-uk/documents/information-guides/ageukig05\\_avoiding\\_scams\\_inf.pdf](https://www.ageuk.org.uk/globalassets/age-uk/documents/information-guides/ageukig05_avoiding_scams_inf.pdf) (ガイドブック)

### ●オランダ:高齢者の夏季の孤独に対応するキャンペーン立ち上げ

ある研究によると、高齢者は他の季節よりも夏に孤独を感じることが多い。そこで政府は、夏季の孤独に対応するためにキャンペーンを立ち上げた。

具体的には(1)高齢者が外出したりどこかへ訪問したりするようテレビ広告で促す、(2)家族や近隣の人たちが高齢者に電話したり手紙を書いたりするよう、看板やポスターを掲示する(ソーシャルメディアでも拡散)、(3)高齢者の孤独を減らすヒントを掲載した[ウェブサイト](#)を立ち上げるといった取り組みを行う。

- <https://nltimes.nl/2019/07/24/campaign-launched-combat-elderly-loneliness-summer>

### ●バスク:高齢者が運動できるスペースを街が提供

バスクの都市サン・セバスチャンでは、高齢者のニーズに対応した設備を公共スペースに作った。この設備では、手すりの付いた通路を使って様々な運動ができ(設備の詳細は下記からビデオ参照)、これによって身体活動を促すとともに、認知機能の維持も目指す。

このプロジェクトによって街のプロダクティブ・エイジング促進が期待される。以前はこのような設備が高齢者用の公園にしかなかった。

- <https://www.themayor.eu/en/area-for-physical-activity-of-the-elderly-opens-in-san-sebastian>

### ●米国:Uber と Lyft が、非緊急医療搬送事業に取り組む

Uber と Lyft は最近、非緊急医療搬送事業 (non-emergency medical transportation, NEMT) に力を入れており、頼れる交通手段のない高齢者や低所得者が病院等へ通う際のアシを提供する。

この事業部門は年間 150 億ドルにのぼると見込まれる。両社とも、予約した医療機関への通院でのオンデマンド送迎サービス提供に投資しており、これは通常、保険者や医療提供者など第三者が支払う。米国会計監査院によると、メディケアとメディケイドでの NEMT 費用は、2013 年で 30 億ドル近くにのぼったと見込まれる。

Uber によると、同事業は急速に伸びており、同社は現在、1,000 以上の医療機関と提携している。また処方薬配達の可能性も見えている、と同社は語る。これまでこのような相乗りサービスを利用してきたのは、主に若くて比較的裕福な人たちであったが、医療搬送サービスによって顧客層の拡大が期待される。

両社の医療搬送サービスでは、通常サービスと異なり、サービス利用に際してアプリは必要なく、スマートフォンも不要である。医療提供者が患者に代わってサービスを要請する。しかし、これまでの試験的事業の結果を見ると、このサービスの利用は期待以下の状況であった。十分な規模の利用を確保できるかどうかは課題だ。

- <https://www.wsj.com/articles/doctor-visits-could-provide-relief-to-uber-and-lyft-11562756401>

### ●米国:高齢アメリカ人は起きている時間の半分以上を一人で過ごす

ピュー研究所が最近発表した統計分析によると、60 歳以上の人たちは起きている時間の半分以上を一人で過ごしている。また、高齢者の 14% は一日を通して一人で過ごしている一方、60 歳未満では 8% のみだった。一人で過ごす時間は、年齢や性でも異なっており、年齢が高い人や女性が多かった。しかしこれは、同居状態の影響が大きいと見られる。独居高齢者のみを見た場合、すべての時間を一人で過ごす人の割合は、女性よりも男性の方が高かった。

- <https://www.marketwatch.com/story/some-older-americans-spend-more-than-10-waking-hours-alone-heres-why-that-could-be-harmful-2019-07-08>
- <https://www.pewresearch.org/fact-tank/2019/07/03/on-average-older-adults-spend-over-half-their-waking-hours-alone/> (ピュー研究所発表)

### ●米国:エアロビクスはアルツハイマー病への処方となるか？

アメリカ国立老化研究所(NIA)が資金を提供するこの新たな調査では、「薬のように運動を処方することで、アルツハイマー病を予防できるか」について分析を行う。全国的に行われるこの調査(EXERT)では、「軽度記憶障害の人たちにとって運動が薬になるかテストします。…この20年間で構築された科学的エビデンスでは、私たちが年を重ねるにつれ、適度の運動が脳の健康を守れることが示唆されています」と主任研究者は語る。研究者たちは、アルツハイマー病のリスクが高い人たち300人を18か月追跡する予定であり、現在のところ200人が集まっている。参加者の半数はエアロビクスの運動(ランニングマシンなどを使用)を行い、残りの半数は比較群として、ストレッチや柔軟体操を行う。

- <https://www.npr.org/sections/health-shots/2019/07/18/743189541/is-aerobic-exercise-the-right-prescription-for-staving-off-alzheimers>

### ●米国:DCメトロが障害者や高齢者向けの新たなアプリを立ち上げ

DCメトロ(ワシントンDCの公共交通機関)では、電車やバスのナビゲーションを行うスマートフォンの新たなアプリを立ち上げる。このアプリでは自動音声で、質問に答えたり情報を提供したりする。たとえば、次の駅までの順を追ったインストラクションや、次のバスの到着時間・行先などである。初めは10か所の駅と2,200か所のバス停(システム全体の約20%。高齢者や障害者の利用が多い場所を選定)で試験的に実施し、成功すればすべての駅に拡大予定。2020年10月にはプログラムを立ち上げたいと考えている。

- [https://www.washingtonpost.com/local/trafficandcommuting/metro-to-launch-new-app-and-website-to-help-riders-with-disabilities-navigate-rail-and-bus/2019/07/14/14adeed4-a242-11e9-bd56-eac6bb02d01d\\_story.html?utm\\_term=.9229e3b2aa10](https://www.washingtonpost.com/local/trafficandcommuting/metro-to-launch-new-app-and-website-to-help-riders-with-disabilities-navigate-rail-and-bus/2019/07/14/14adeed4-a242-11e9-bd56-eac6bb02d01d_story.html?utm_term=.9229e3b2aa10)

### ●米国:Googleの年齢差別訴訟:1,100万ドルで和解

Googleは採用条件での年齢差別に関する集団訴訟で、1,100万ドルを支払うことに合意した。この訴訟の原告は227人にのぼり、平均すると支払額は35,000ドル以上となる。この和解ではまた、年齢への偏見に関する従業員や管理者への研修や、採用における年齢の多様性に重点を置いた委員会の設置、苦情に対する適切な調査も求めている。同社では2010年にも、年齢差別の訴訟が発生している。

- <https://www.bloomberg.com/news/articles/2019-07-19/google-settles-age-bias-claims-by-job-seekers-for-11-million>
- <https://www.forbes.com/sites/patriciagbarnes/2019/07/20/deja-vu-google-settles-age-discrimination-lawsuit-for-11-million/#45ad9a6871f1>

### ●カナダ: Bisep 社が車いすと歩行器を直に接続する機器 ARMM を開発

Bisep 社は、車いすと歩行器を直に接続する Ambulation, Retraining and Mobility Mechanism (ARMM)を開発した。この機器は、車いすから歩行器へ移動する際に側面と後方から利用者を支え、これによって、他の人や用具を使わずに移動や歩行の訓練を安全かつより頻繁に行えるようになる(詳細は下記紹介動画を参照)。

- <https://www.stcatharinesstandard.ca/news-story/9452072-falls-company-among-top-innovators-in-canada-s-technology-and-aging-sector/>
- <https://www.bisep.org/> (紹介動画あり)

### ●カナダ: 農場の動物たちが高齢者ケアホームを訪問し、メモリーケアを支援

サスカチュワンにあるメモリーケアホームに、アルパカや子うさぎ、ひよこや雄鶏などが訪れた。この訪問は、高齢者へのアニマルセラピーの一環として、Fenek Farms と提携して行われた。

このホームはメモリーケアを専門としているため、すべての入居者には、アルツハイマー病や認知症など何らかの認知機能障害がある。この人たちの長期記憶は残存しているため、動物たちの訪問は特に重要である。

ホームの担当者は、入居者の多くは農場で育ってきたため、動物たちとの触れ合いは体にしみ込んでいると語る。動物たちの訪問時には、入居者の孫やひ孫も招待された。

- <https://www.cbc.ca/news/canada/saskatchewan/seniors-alpaca-bunnies-c-hicks-ducklings-regina-sask-1.5197870>

### ●キューバ: 100 歳以上の高齢者は 2,000 人を超え、120 歳を目指す

キューバの人口は現在 1,120 万人で、平均寿命は 79.5 歳。そして 100 歳以上の高齢者は 2,070 人いる。平均月給はわずか 30 ドルだが、上記の数値は他の裕福な国々に匹敵する。キューバには「120 クラブ」があり、ここでは 120 歳を目指すよう奨励している。高齢者の年金受給額は月に 10 ドル程度しかないため、家族が外国に住んでいて支援を得られず、生活費が不足する人向けに、政府は食堂を設けている。

米国に拠点を置く老年学研究グループの専門家である Robert Young 氏は、家族支援ネットワークと温暖な気候が長寿に貢献している、と述べるが、同時に、キューバの長寿は宣伝目的に使われた作り話である可能性も指摘する。

カナダの King's University College で経済学教授を務める Vincent Geloso 氏によると、キューバはかつてソ連の支配下にあったために統計が操作された可能性があり、実際の平均寿命はもっと短い可能性がある。しかしどれだけ操作が行われたとしても、所得の割に平均寿命が長いことは変わらない。

- <https://gulfnews.com/world/americas/cuban-centenarians-cheered-on-by-family-aim-for-120-1.64939302>

### ●シンガポール:高齡男性がフードコートで働く姿の動画に様々な反応

この動画では歩くのが大変そうな高齡男性がフードコートでテーブルを片付けている姿が映し出されており、これが Facebook で 28 万回以上再生されている。

この動画への反応はたとえば、このような高齡者が退職できずに働かなければならない様子を見るのは辛い、という内容がある一方で、高齡になっても一生懸命働くとするシンガポール人に誇りを示す人もいた。

- <http://theindependent.sg/video-of-elderly-singaporean-shuffling-along-as-he-clears-tables-at-hawker-centre-goes-viral/>
- <https://www.facebook.com/tanwmmelvin/videos/149568119545087/> (動画)

### ●シンガポール:高齡者向けコーヒー・紅茶の割引サービス

毎週水曜日の朝、シンガポールの Nee Soon South に住む高齡者たちは、区内のコーヒーショップでコーヒーまたは紅茶を、通常 1.10 ドルのところ 50 セントで飲むことができる。この取り組みは、Nee Soon GRC MP Lee Bee Wah が始めた。

同様の取り組みは 4 月に、NTUC Foodfare と Kopitiam が運営する約 100 か所のコーヒーショップやフードコートでも発表されたが、Nee Soon South のプログラムは、民間のコーヒーショップを巻き込んだ最初の取り組みである。ここで目指しているのは、住民が朝に運動し、その後で仲間と楽しむ時間を作ることである。住民の交流促進は、認知症フレンドリー・タウンに向けた取り組みの一環である。

- <https://www.straitstimes.com/singapore/seniors-to-enjoy-discounts-for-coffee-and-tea-at-some-yishun-coffeeshops>

### ●シンガポール:マイクロチップで認知症高齡者の徘徊問題を解決！？

シンガポールでは 60 歳以上の人の約 10%が認知症であり、徘徊で行方不明になった人を探したり携帯電話で場所を探知するアプリの活用が見られている。

これらに加え、マイクロチップが最新のソリューションとなる可能性がある。これはマイクロチップを人体(大抵は手)に埋め込むものであり、これによって認知症の人を見つけやすくなるとともに、記憶障害のある本人の氏名や連絡先などが分かるようになる。

ただし専門家は、本人の同意を事前に得ることが重要であると述べており、認知症になる前に同意を得たり代理者を指定したりするなどの対応が求められる。

- <https://www.channelnewsasia.com/news/singapore/microchipping-a-possib>

### ●シンガポール:孤立や孤独へ対応するために、ガーデニングを高齢者に奨励

2017年、シンガポールでは60歳以上の自殺者数が過去最高の129人に達した。このような状況を受け、シンガポールでは、公園の貸し出しプログラムを開始した。ここでは人々が植物などを育てられるよう共有の土地を提供している。この取り組みによって、社会的なつながりやガーデニングの喜びが促されることが期待されている。

国立公園の1,000か所以上が対象地となっており、賃料は年間41ドルである。「セラピー・ガーデン」として知られるこの取り組みでは、認知症など高齢化に伴う疾病の減少も目指している。

- <https://www.reuters.com/article/us-singapore-cities-health/gray-fingers-a-ging-singapore-uses-gardening-to-fight-loneliness-idUSKCN1UH07C>

### ●中国:「バーチャル・ナーシングホーム」パイロット事業

この事業で、支援を必要とする高齢者が行うのはパソコンのボタンを押すだけ。すると、清掃や配食、入浴介助、器具の修理、買い物などのサービスを受けられる。これは「バーチャル・ナーシングホーム」として知られているオンラインの高齢者ケアプラットフォームで、中国で人気が高まっている。

情報データベースの構築により、このプラットフォームでは、近隣病院への連絡や、子どもや地域の保健師へ最新情報を送付することもできる。

「塀のないナーシングホーム」と呼ばれるこのプラットフォームは、業界でベストプラクティスと捉えられ、他国からの訪問も受けている。

- <https://www.prnewswire.com/news-releases/china-pilots-internet-based-nursing-program-for-the-elderly-300883376.html>

### ●台湾:病院の診察開始時間を早めて高齢者のニーズに対応

高齢者は早起が多い。そこで花蓮市にある慈濟病院の診療所では、高齢患者へ対応するため午前5時から診療を開始した。同市で病院が不足していることも、診察開始時間を早めた要因の一つである。その結果、高齢者は空いている時間に診療を受けられ、待ち時間も減った。また介護者にとっても、通勤前に高齢者の通院を済ませることができるため助かっている。

この記事ではこのほかにも、「Time dollar」やケアでの若者の役割、認知症の人の介護者へのケアなど、高齢化に対応した新たな取り組みを紹介している。

- <https://www.channelnewsasia.com/news/commentary/old-age-singapore-senior-care-what-we-should-talk-about-11666238>

### ●韓国:ソウルで1万人以上の高齢者が運転免許証を返納

ソウル市では3月にプログラムを開始して以降、70歳以上のドライバー10,183人が免許証を返納した、と市は発表した。返納した高齢者には、85ドル分の公共交通機関利用カードが提供される。市では当初、返納者数を1,000人程度と見込んでいたが、2週間以内に3,000を超える人たちが申請したため、予算を拡大した。この返納プログラムは、高齢ドライバーによる事故の増加(2014年には13,662件だったが2018年には30,550件)を受けて始められた。

➤ [http://www.koreatimes.co.kr/www/nation/2019/07/281\\_272604.html](http://www.koreatimes.co.kr/www/nation/2019/07/281_272604.html)

### ●韓国:就労希望の高齢者が増加

韓国統計庁によると、55-79歳の人のうち、仕事をしたいと回答した人は64.9%に上り、前年度を0.8ポイント上回った。この人たちは平均して、73歳まで働きたいと考えており、この年齢は前年度より1年上昇した。また希望する月収は、1,270ドルであった。統計庁によると、2047年までに65歳以上の人の割合は38.4%に達すると見込まれる。

➤ <http://koreabizwire.com/six-out-of-10-elderly-s-koreans-wants-to-work-until-73-data/141121>

### ●インド:不安やうつ傾向の高齢者にスマートフォンが良い影響を及ぼす可能性

ソーシャルメディアやスマートフォンは、若者の間で不安や鬱と関連していると思われるが、高齢者にとってはその逆の可能性もある。インドでは、高齢者の約半数が孤立に苦しんでおり、孤立度が高まることで鬱や不安につながる。

インドでは認知症の発症が60歳頃に見られ、先進国よりも10年早い。ある研究によると、コンピューターまたはタブレットの使い方の訓練を受けた高齢者は、様々な認知機能で改善を見せた。また他の研究では、コンピューターの利用が増加するとともに認知症リスクが減少していることが分かった。

➤ [https://www.huffingtonpost.in/entry/senior-citizens-technology-smartphones-mental-health\\_in\\_5d28b49de4b02a5a5d5a28db](https://www.huffingtonpost.in/entry/senior-citizens-technology-smartphones-mental-health_in_5d28b49de4b02a5a5d5a28db)

### ●オーストラリア:Feros Careが2019 Global Ageing Network エイジングサービス賞を受賞

[The Global Aging Network](#)では毎年、「グローバルエイジングサービス優秀賞」を発表し、人々のQOL向上へ大きく貢献するプログラムやサービスを称えている。2019年は、オーストラリアのFeros Careが受賞したと発表された。

Ferosのページを見ると、「We don't just want you to live. We want you to dream...We call it growing bold.」と書かれている。つまり「ただ生きるだけでなく、夢

を見てほしいのです。私たちはこれを (grow old = 年を重ねるのではなく) 『Grow Bold = 大胆さを重ねる』と呼んでいます」という点を強調している。Feros は非営利団体で、在宅ケアや施設ケアなど様々な質の高いサービスを提供している。

Feros のスタッフは画期的な取り組みを展開し、シニアフレンドリーで実用的かつ手頃な価格の様々な在宅ベーステクノロジーを「パスポート」でまとめている。このパスポートは Feros 内部で開発されたプラットフォームで、クライアントの健康歴や状態、支援計画、サービス、カレンダー、好み、支援／関係性などが記憶されている。クライアントは「My Feros」ポータルを与えられ、自分のパソコンや機器を使って自分のサービスを管理したり、スケジュール変更を介護者と見たり、メッセージをやり取りしたりできる。

ユニークな健康コーチング・コンポーネントでは、高齢者が自分のバイタルを日常的にモニタリングできるほか、健康管理の指導も受けられ、またボタンを押せば看護師にも相談できる。

また Feros バーチャルシニアセンターでは、社会的孤立のリスクが高い高齢者がバーチャルで集まり、太極拳や読書クラブなどのセッションを楽しめる。最近では音声作動サービスが追加され、Google が Feros と公式に提携した。このサービスはすべての在宅高齢者 (65 歳以上) が利用できるが、バーチャルという特性上、特に遠隔地域で効果を発揮している。

- <https://globalageing.org/2019-global-ageing-network-ageing-service-award-winner/> (受賞者発表記事)
- <https://www.feroscare.com.au/> (Feros Care ウェブサイト)

## ● 欧州: 欧州アクセシビリティ法 (European Accessibility Act: EAA) が EU 官報に掲載

EAA が 6 月初旬、EU 官報に掲載された。これにより EU 加盟国は 2022 年 6 月 28 日までに、この指令を遵守するのに必要な法令等を採用および公表しなければならない。EAA では以下の点をカバーする。

- ◇ コンピューター、タブレット、ラップトップおよびこれらの OS
- ◇ 支払い端末や消費者金融サービス
- ◇ 自動サービス端末 (例: ATM、自動券売機、チェックイン機器)
- ◇ スマートフォンおよび電話通信サービス
- ◇ スマート TV および視聴覚メディアサービス
- ◇ 電子書籍および e-Book
- ◇ 旅客輸送サービス (都市・郊外および地域サービスを除く): ウェブサイト、モバイルアプリ、電子チケット発行、リアルタイム旅行情報、インタラクティブ・セルフサービス端末 (車両に組み込まれたパーツを除く)

◇ Eコマース

◇ 緊急通信: 欧州で単一の緊急番号 112

ただし EAA では医療、教育、交通および住宅分野のサービスや家電はカバーされない。

- <https://www.age-platform.eu/policy-work/news/european-accessibility-act-published-eu-official-journal>
- [https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=uriserv:OJ.L\\_.2019.151.01.0070.01.ENG&toc=OJ:L:2019:151:TOC](https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=uriserv:OJ.L_.2019.151.01.0070.01.ENG&toc=OJ:L:2019:151:TOC) (EAA 全文。ページ内で EN(英語)ファイルを選択)

### ●英国: Better Care Fund の 2019 年度更新

Better Care Fund が 2019 年度更新されることとなり、64 億ポンドを超える資金が集まる。計画要件が 7 月 18 日に発表され、そこでは全体的な報告で地域パートナーシップの負担が軽減される一方、効果測定での状況改善を謳っている。

このファンドは、地域サービスの計画・提供のために自治体と NHS が共同で財政支援を行うものであり、人々がより早く退院し、必要なケアを受けつつ自宅で生活できるようにすることを目的としている。医療とソーシャルケアの統合に向けたこの取り組みが始まって以降、ソーシャルケア関連の要因で退院が遅れたケースは半数近く減った。

このファンドは、人々が自宅で自立した生活を送ったり、連携したリエイブルメントサービスを提供したり、退院の遅れを防いだりするのに効果を上げている。

- <https://www.gov.uk/government/news/better-care-fund-renewed-for-2019-to-2020>
- <https://www.gov.uk/government/publications/better-care-fund-planning-requirements-for-2019-to-2020>

### ●シンガポール: 2020 年より、新築および大規模改修を行う建物のアクセシビリティ改善を義務付け

2020 年 1 月 6 日より、新築または大規模改修を行う建物は、シンガポールで最新のアクセシビリティ規制要件を満たさなければならない。この規制は、建物・建設庁による建築環境のアクセシビリティ基準更新(7 月 5 日)の一環である。主な変更点は以下の通り。

- ◇ 更衣室のアクセシビリティ: 介助が必要な障害者や高齢者も利用できるようにする
- ◇ 電動車いすで動ける広さのトイレを各階に設置
- <https://www.straitstimes.com/singapore/new-building-rules-to-improve-ac>

### ●中国:中国の自治体で、「親不孝な」子どもを罰する法律

中国北西部の最も貧しい自治体の一つである旬陽県は、高齢の親へ適切なケアを行わない者を罰すると発表した。

政府は旬陽県の行政担当者に対し、高齢者ケアに関する自らの責任を転嫁しているのではないかと主張したが、行政担当者は否定しており、親のケアは「人間の基本である」と述べる。

しかし、この法律は倫理的な問題を犯罪とみなし、封建制度をもたらすとして批判する人もいる。

- <https://www.inkstonenews.com/society/chinese-countys-plan-punish-unfilial-children-sparks-elderly-care-debate/article/3019753>

### ●台湾:中高年の就労促進に向けた法案提出

人口高齢化の影響を見越し、立法者たちは職場での解決策や高齢就労者の維持を模索している。7月25日に行政院へ出される法案では、以下をカバーする。

- ◇ 65歳以上の就労者との契約:以前の規則では、就労者が65歳になると強制退職させられていた。
  - ◇ 45-65歳の従業員へOJTを行う使用者への補助金
  - ◇ 65歳以上の就労者を多数または長期雇用する企業等への補助金
  - ◇ エイジズムから就労者を守る規則への違反や高齢就労者への支払賃金が低い企業への罰金(最大48,000ドル)
- <https://www.taiwannews.com.tw/en/news/3751196>

### ●オーストラリア:高齢者ケアの品質基準

2019年7月1日より、オーストラリア政府の資金を受ける高齢者ケアプロバイダーはすべて、以下の品質基準を満たす必要がある。この基準では、利用者向けの品質アウトカムに重点を置いている。これによって、サービスから何を期待できるのか、利用者やその家族などにとってわかりやすくなる。

この基準はまた、プロバイダーにとって規制を簡素化するとともに、イノベーションや継続した改善を奨励している。高齢者ケアの質と安全性に関する委員会(The Aged Care Quality and Safety Commission)がこの基準に照らし、高齢者ケアサービスの認定や評価などを独立して行う。この基準に関する様々なツール(例:利用者アウトカムの要約ポスター、ビデオ、ファクトシート等。多言語で作成)は、下記よりダウンロード可能。

- <https://agedcare.health.gov.au/quality/aged-care-quality-standards>

- <https://www.agedcarequality.gov.au/providers/standards/transitioning-info>
- <https://www.agedcarequality.gov.au/resource-library?resources%5B0%5D=topics%3A211> (様々なツールのダウンロードページ)



## 海外／国際機関の報告書・ガイドブックなど

### ●世界:国連「世界人口推計 2019 年版」要旨日本語訳

国連の新たな報告書によると、世界人口は現在の 77 億人から 2050 年の 97 億人へと、今後 30 年で 20 億人の増加となる見込み。国連経済社会局人口部が発表した『世界人口推計 2019 年版:要旨』は、世界人口のパターンと見通しを包括的に概観した報告書である。調査結果は、世界人口が今世紀末頃、ほぼ 110 億人でピークに達する可能性がある」と結論づけている。報告書はまた、平均寿命の延びと少子化によって世界人口の高齢化が進んでいること、人口が減少している国の数が増えていることも確認している。その結果として生じる世界人口の規模、構成、分布の変化は、経済的な豊かさと社会的福祉を改善しながら、環境を守るため、世界が合意したターゲットを盛り込んだ持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に大きく影響する。

- [https://www.unic.or.jp/news\\_press/info/33789/](https://www.unic.or.jp/news_press/info/33789/) (紹介文)
- [https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/33798/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/33798/) (10 の主な結果)
- <https://www.unic.or.jp/files/15fad536140e6cf1a70731746957792b.pdf> (ブックレット日本語訳)

### ●WHO 神戸センター(WKC):2018-2026 年の新規研究計画を発表

WKC は、WHO の総合事業計画および神戸グループとの合意に沿って、2026 年までの第 3 期における活動を導くための新規研究計画を策定した。この計画により、下記 3 項目の研究テーマの下で一貫した研究プログラムが展開される。

- ◇ 各国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) 促進のための、人口高齢化に照らしたサービスの提供と持続可能な資金供給
- ◇ 人口の高齢化を踏まえ、UHC の進捗をモニターするための指標と測定
- ◇ 保健緊急事態において最も不利な立場にある高齢者のニーズに対応可能な、回復力に優れた医療システムの構築に資する、各国への情報提供のための災害・健康危機管理

日本から得られる教訓は、これら3つの研究領域をまたぐ分野横断的なテーマである。日本は、人口高齢化に対処するための保健制度の管理や高齢者のニーズへの対応における取り組みを牽引してきた。研究計画には、新たな成果物や技術だけでなく健康問題を解決するための新手法ともみなされるイノベーションも組み込まれている。研究戦略と併せて、可能な限り質の高い研究成果を確保するために、WKC は研究の品質保証計画を作成した。

- [https://extranet.who.int/kobe\\_centre/ja/news/Research\\_Plan\\_WKC\\_July2019](https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/news/Research_Plan_WKC_July2019)

### ● 欧州: AGE バロメーターで、欧州における高齢者の複雑な社会経済的状況が明らかに

AGE バロメーターの目的は、EU 全体における高齢者の社会経済的な状況を毎年評価し、またこれらの状況が高齢者の人権尊重を実証しているか否かを見ることである。この年次アセスメントは、高齢化に関する EU や国レベルでの主要政策プロセス(例: SDGs に向けた 2030 アジェンダ、MIPAA)に絡めて行われる。2019 年度の報告書では、ジェンダー平等、雇用支援、エイジフレンドリーな職場、ワークライフバランス、貧困や社会的排除との闘い、および十分な収入に焦点を当てている。ちなみに次年度の特集は、健康、長期介護、自立および自律である。

- <https://www.age-platform.eu/press-releases/age-barometer-reveals-complexity-socio-economic-realities-older-people-europe> (プレスリリース)
- <https://www.age-platform.eu/policy-work/age-barometer> (Age バロメーター ホームページ)
- [https://www.age-platform.eu/sites/default/files/AGE\\_Barometer\\_2019-Final2.pdf](https://www.age-platform.eu/sites/default/files/AGE_Barometer_2019-Final2.pdf) (Age バロメーター 2019 年報告書)

### ● 欧州: 2018 年アクティブ・エイジング・インデックス(AAI)分析報告の発表

UNECE と欧州委員会が共同で発表した 2018 アクティブ・エイジング・インデックス報告書(2018 年 AAI 分析報告書)では、大半の EU 加盟国で全体的な AAI スコアが 2008 年以降改善していることが示された。改善が最も顕著に見られたのは女性であった。AAI は 4 領域の 22 指標からなり(詳細は下記報告書全文の p.17 参照)、高齢者がどの程度自立して生活し、有償雇用や社会活動に携わり、アクティブに年を重ねられているかを測定する。

- <http://www.unece.org/population/aai.html> (紹介文)
- [http://www.unece.org/fileadmin/DAM/pau/age/Active\\_Ageing\\_Index/Stakeholder\\_Meeting/ACTIVE\\_AGEING\\_INDEX\\_TRENDS\\_2008-2016\\_web\\_cover\\_reduced.pdf](http://www.unece.org/fileadmin/DAM/pau/age/Active_Ageing_Index/Stakeholder_Meeting/ACTIVE_AGEING_INDEX_TRENDS_2008-2016_web_cover_reduced.pdf) (報告書全文)

### ●英国:高齢者関連の支出に地域差あり

英国では多くの地域が「ケア砂漠」となり、ケアを必要とする高齢者が取り残されている。いくつかの農村地域では、都市部と比較して高齢者ケアへの支出が1/5に満たない状況である。Salvation Army が発表した調査報告によると、不動産価格の低い地域では税収が少ないために、ソーシャルケアへ十分な資金を出せていない。これらのエビデンスから、ケアの提供における地域差が見て取れる。またデータの動向を見ると、購買力は農村地域で低下している一方、都市部では上昇している。

- <https://www.telegraph.co.uk/news/2019/07/18/councils-country-have-far-less-spend-elderly-cities/>
- <https://ilcuk.org.uk/care-in-places-inequalities-in-local-authority-adult-social-care-spending-power/>
- <https://www.salvationarmy.org.uk/files/tsajuly19olderpeoplescare4reportv2.pdf/download?token=MgOBHBHG> (報告書)

### ●英国:「医療、介護、百歳人生(Health, care and the 100-year life)」

100 歳人生が英国の社会、経済、公共サービスにもたらす影響に重点を置いた報告書シリーズの第 1 弾。この報告では、医療、介護、医薬品に重点を置く。

寿命の伸長により、英国における医療、介護および医薬品システムの未来について、いくつかの疑問が浮かび上がっている。たとえばシステムの持続可能性や新たな課題などである。

報告書の第 2 部では、NHS とソーシャルケアの持続可能性や医薬品へのアクセス、平均寿命の格差に重点を置く。

第 3 部では、医療や保健システムに関する一般市民の期待に重点を置く。ある調査によると、NHS が現状のまま継続できるかどうか、人々は既に疑問を持っている。

結論では、課題に対応するための政策提言を行っている(例:長寿に関する啓発、医薬品調達方法の変更、リハビリやリエイブルメントへの投資増など)。

- <http://www.smf.co.uk/publications/health-care-100-year-life/>
- <http://www.smf.co.uk/wp-content/uploads/2019/07/Health-care-and-the-100-year-life.pdf> (報告書)

### ●英国:現在も危機的状態が続く高齢者の住宅状況が明らかに

新たに発表された調査報告では、高齢者の住宅で対応が至急求められることが示された。イングランドでは、世帯主が 65 歳以上の世帯数は 2010 年から 100 万以上増加している。しかし、世帯員の最高齢者が 60 歳以上の世帯が居住する住宅のうち、20%は、安全性や破損などで問題が生じている。

速報として発表されたデータでは、今後 20 年間で安全性や適性などに問題のある賃貸住宅に住む高齢世帯の数が急増すると警告している。

高齢者の住宅とケアに向けた議員連盟による上記の速報によると、高齢者が適切な住宅に住めるようにするためには、2040 年代後半までに 110 万戸の低額賃貸住宅が必要と推測される。現在のデータでは、民間賃貸住宅のうち 1/4 近くが住宅基準を満たしていないことが示されている。

- <https://www.ageing-better.org.uk/news/new-figures-reveal-ongoing-decent-homes-crisis-older-people>
- <https://www.gov.uk/government/collections/english-housing-survey#2017-to-2018>

### ●英国:「2018-2020 年ケアラー行動計画」:1 年目進捗レビュー

政府横断でのケアラー行動計画は 2018 年 6 月に発表され、5 つの優先分野(サービスとシステム、雇用と経済、ヤングケアラーへの支援、ケアラーへの認知と支援、研究とエビデンス)における 64 の行動を通じて、ケアラー支援に関する政府の取り組み充実を目指している。この報告書では、1 年目の進捗状況がまとめられている。

- <https://www.gov.uk/government/publications/carers-action-plan-2018-to-2020-1-year-progress-review>

### ●アイルランド:多くの介護者が孤立を感じる中でオンラインの支援が重要に

アイルランド介護者連盟(Care Alliance Ireland)は、パートナーグループと共同で、全国の家族介護者 300 人を対象として調査を実施した。その結果、多くの家族介護者が今も家から出られず、情報や支援、社会的つながりにおいてオンライン資源をかなり頼りにしていることが分かった。具体的な結果の例は以下の通り。

- ◇ 回答者の 59%が、「しばしば」または「いつも」孤独または孤立を感じており、「ときどき」感じる人も 37%いた。
  - ◇ 自分が行きたい社会的／支援のイベントへ「いつも」行けると答えたのは、わずか 3%だった。「まったく行けない」と回答したのは 23%に上る。
  - ◇ 回答者の半数以上はオンライン・サポートグループのメンバーであり、また要介護者の健康についてオンラインで情報を探したことがある人は、76%いた。
- <http://www.carersweek.ie/>
  - [http://carealliance.ie/userfiles/file/Internet\\_Supports\\_NCW\\_2019\\_Final\\_Report.pdf](http://carealliance.ie/userfiles/file/Internet_Supports_NCW_2019_Final_Report.pdf)

### ●米国:家族介護で失われる賃金は、2050年までに年間1,470億ドルへ

米国では人口高齢化に伴い、家族介護者が失う賃金による年間合計コストが2倍以上増え、2050年には1,470億ドルに達すると見込まれることが、最近の調査で示唆された。家族介護のコストは現在、約670億ドルであり、その中には、介護のために仕事を休んだ20-64歳のアメリカ人による、就労時間の減少分や失われた収入が含まれる。

要介護高齢者が増える一方で介護を提供できる家族が減少し、また介護の役割を担うようになる人たちの高学歴化や高収入化が進むとともに、上記の数字は増加が見込まれる。この調査は Health Affairs に掲載された(下記の2つ目の URL 参照)。

- <https://www.reuters.com/article/us-health-caregiving/us-wages-lost-to-unpaid-family-care-to-hit-147-billion-by-2050-idUSKCN1TT36E>
- <https://www.healthaffairs.org/doi/full/10.1377/hlthaff.2019.00008>

### ●米国:医療費よりも増加のスピードが速いナーシングホームの費用

ジョージタウン大学メディカルセンターの調査によると、米国ではナーシングホームのコストが年間7万ドルにまでのぼることもあり、州によっては医療費よりも増加のスピードが速いことがわかった。

報告によると、最も費用が低いのは民間のナーシングホームで、最も高いのは非営利のチェーンだった。2005-2010年のデータによると、ニューヨークのナーシングホームの平均コストが米国で最も高く、1日302.30ドルだった一方で、最も低いテキサスでは1日121.90ドルだった。

8つの州では2005-2010年に、全体的な医療費の増加率は約20%であったが、それより速いスピードでナーシングホームのコストが上昇していた。65歳以上の米国人のうち3/4がいずれナーシングホームでのケアを必要とする一方で、介護保険に入っている人は少数である、と著者のHuang氏は指摘する。

- <https://www.cbsnews.com/news/nursing-home-costs-in-the-u-s-rising-even-faster-than-health-care/>
- <https://journals.sagepub.com/doi/abs/10.1177/1077558719857335?journalCode=mcrd&> (論文全文)

### ●米国:高齢者への手術を最適化するための新たな基準

米国外科学会ではこの度、新たなプログラムを立ち上げた。そこでは、75歳以上の患者向けの手術を最適化するために、30の新たな基準を採用するよう、全国の病院へ促すことを目指している。この情報は最終的に、高齢者やその家族がケア提供者を選ぶ際に活用できる予定。新たな基準案では、チームベースのケアや、手

術のリスク・QOLに関するコミュニケーションの改善を強調している。

- <https://www.apnews.com/3dfd920f82e14d7b826a26f8018f2f0c>
- <https://www.facs.org/geriatrics>
- [https://www.facs.org/-/media/files/quality-programs/geriatric/geriatricsv\\_standards.ashx?la=en](https://www.facs.org/-/media/files/quality-programs/geriatric/geriatricsv_standards.ashx?la=en) (基準全文)

### ●中国:早期死亡の原因トップ 5 は慢性疾患

中国では経済成長と教育レベルの向上によって非感染性疾患の割合が高まり、これはこの 30 年間における母子死亡の低下を反映している。中国ではまた、感染病に取り組む全国プログラムも開始した。

1990 年から 2017 年の間に、主な疾病負荷の要因として、脳卒中や虚血性心疾患が下気道感染症や新生児の疾患を上回るようになった。早期死亡の原因としてトップ 5 に挙げられるのは、脳卒中および虚血性心疾患に加えて、肺がん、COPD および肝臓がんである。

- [https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(19\)30427-1/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(19)30427-1/fulltext)

### ●オーストラリア:2019 高齢者ケア部門の財源と財務に関する ACFA 年次報告

高齢者ケア財政当局 (Aged Care Financing Authority (ACFA)) は毎年、高齢者ケア部門の財源と財務に関する報告を政府に提出している。この報告書では、この業界の発展状況や課題を検討するとともに、同国の高齢者ケア提供について幅広い統計や分析結果を提供している。

- <https://agedcare.health.gov.au/aged-care-reform/aged-care-financing-authority>
- [https://agedcare.health.gov.au/sites/default/files/documents/07\\_2019/2019\\_acfa\\_annual\\_report\\_on\\_funding\\_and\\_financing\\_of\\_the\\_aged\\_care\\_sector.pdf](https://agedcare.health.gov.au/sites/default/files/documents/07_2019/2019_acfa_annual_report_on_funding_and_financing_of_the_aged_care_sector.pdf)

### ●オーストラリア:新たな高齢者ケア権利憲章に関するリソース

新たな権利憲章の発表に伴い、その理解を広めるため、以下を含む様々なリソースが発表された。

- <https://opan.com.au/charter/>
- <https://agedcare.govcms.gov.au/quality/single-charter-of-aged-care-rights/charter-of-aged-care-rights-booklet> (小冊子)
- ◇ 消費者が自らの権利について情報を得るための小冊子。これは 18 か国語に翻訳されており、上記サイトからダウンロード可能。

- <https://agedcare.govcms.gov.au/quality/single-charter-of-aged-care-rights/charter-of-aged-care-rights-poster> (ポスター)
- ☆ 組織内で掲示したり認知を向上させるためのポスター

### ●オーストラリア:2018 CHSP(在宅支援プログラム)ウェルネス・リエイブルメント報告のアウトカム

保健省は2018年後半、全国(ヴィクトリアを除く)のサービス提供者への調査を通じて、ウェルネスとリエイブルメントに関する第1回年次報告を行った。第1回調査では、ウェルネス・アプローチの実施について、CHSPから資金を得ている組織の状況および、実施での課題や必要な支援の明確化を目指した。回答数は1,025であった。調査の結果、大半の組織では、ウェルネスやリエイブルメントのメリットについて理解していると考えており、またそれらのアプローチをサービス提供に組み込んでいることが示された。ウェルネスやリエイブルメントに関して更に情報があると助かる、と半数以上が述べていた。回答者の74%では、サービス提供の方針や手順でウェルネスやリエイブルメントを推進していた。

- <https://agedcare.health.gov.au/programs/reporting-for-chsp>
- [https://agedcare.health.gov.au/sites/default/files/documents/07\\_2019/outcomes-for-the-wellness-and-reablement-report-v3.pdf](https://agedcare.health.gov.au/sites/default/files/documents/07_2019/outcomes-for-the-wellness-and-reablement-report-v3.pdf)



### 持続可能な開発目標 (SDGs) 関連情報

### ●国連:SDG 報告 2018(概要日本語版)

『持続可能な開発目標報告 2018』は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」実施3年目の進捗状況を概観するものである。この概要では、入手できる最新のデータに基づき、17の持続可能な開発目標(SDGs)すべてについて、主な進捗状況と残るギャップを明らかにし、目標とターゲットの間にある相互関係を検討している。その後の各章では、2018年7月の持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムで検討されている6つの目標について、さらに詳しく取り扱う。

- [https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/sdgs\\_report/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/)